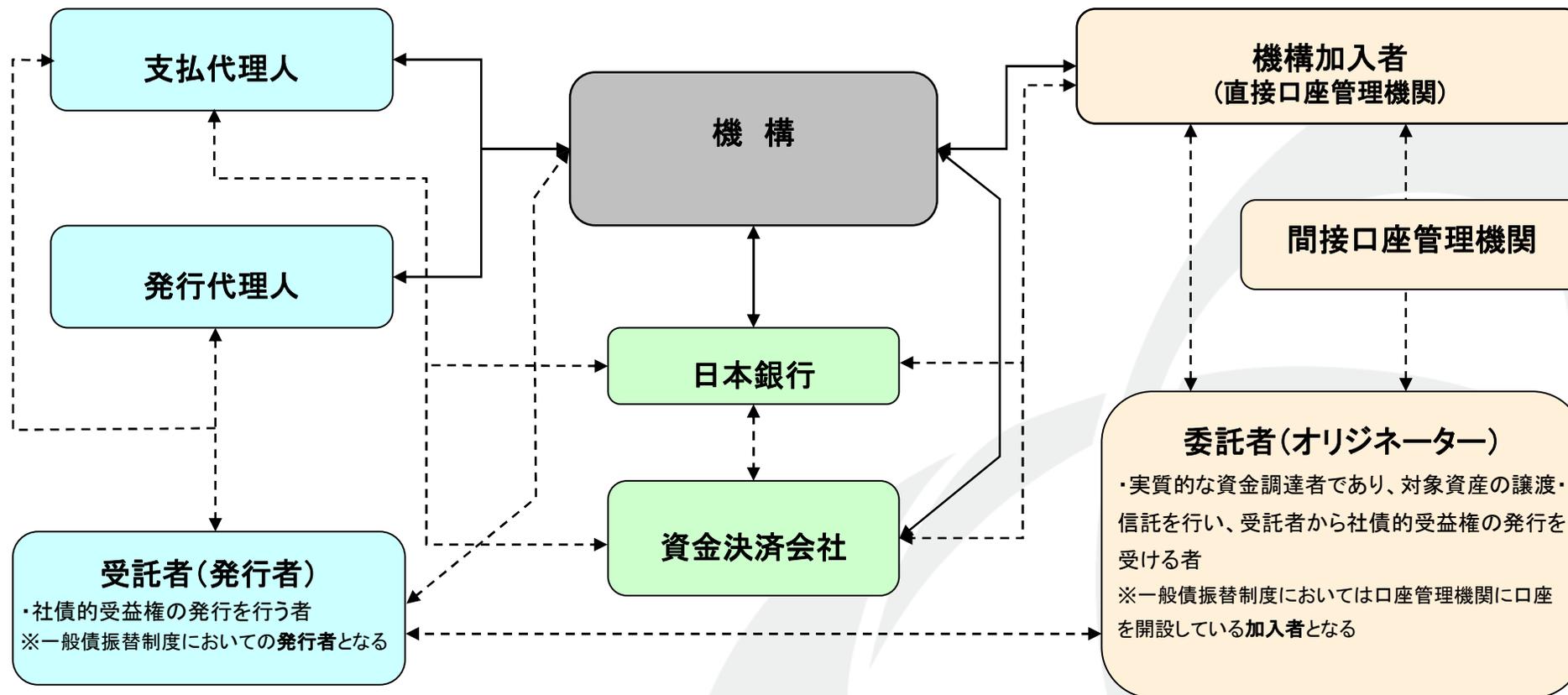


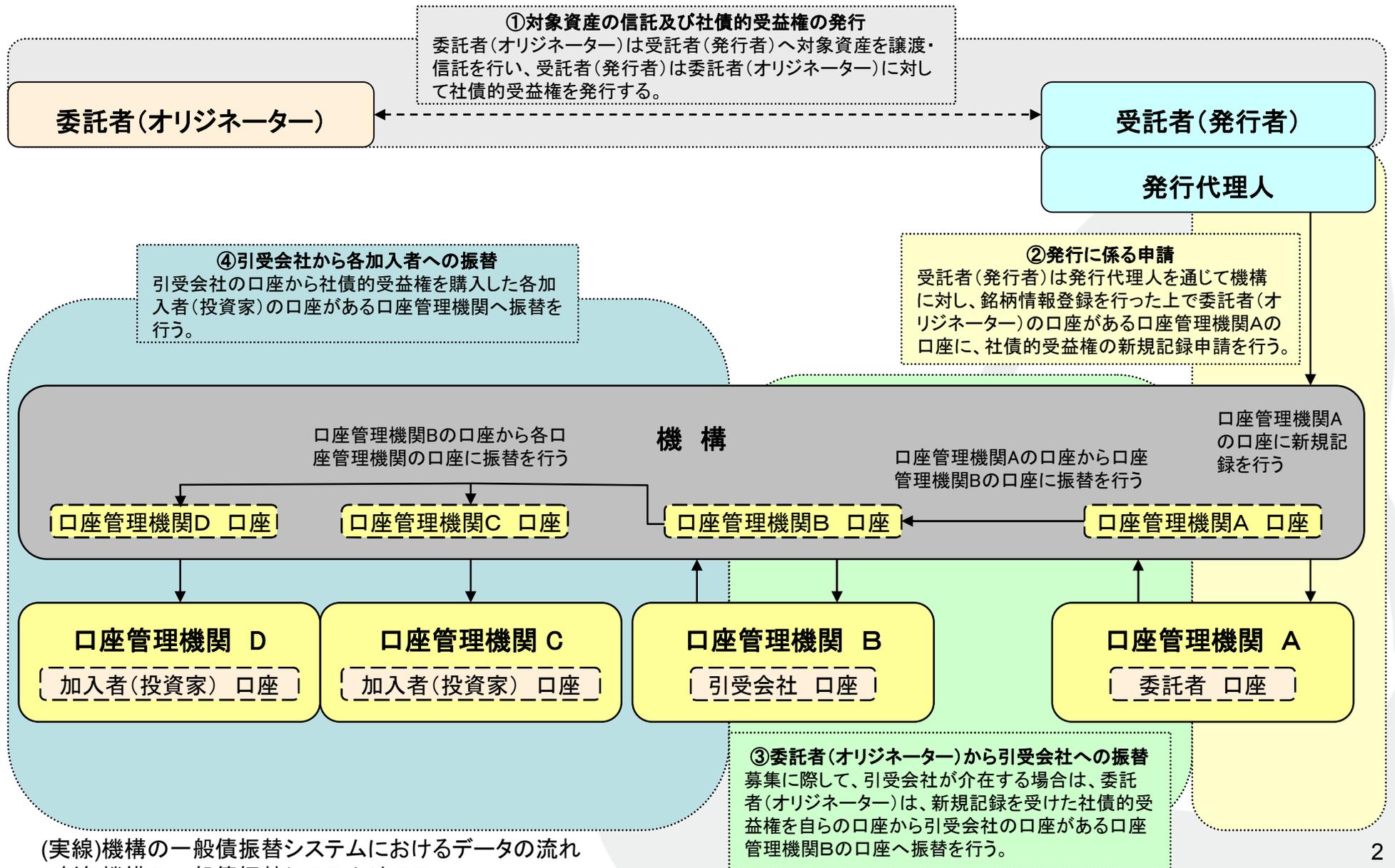
# 制度関係者相関図



(実線)機構の一般債振替システムにおけるデータの流れ  
 (破線)機構の一般債振替システム外のフロー

# 発行時のフロー図(引受会社による総額引受方式)

参考



(実線)機構の一般債振替システムにおけるデータの流れ  
(破線)機構の一般債振替システム外のフロー

# 発行時のフロー（引受会社による総額引受方式）

参考



## ①対象資産の信託及び社債的受益権の発行

⇒受託者(発行者)は委託者(オリジネーター)から対象資産の信託を受けて、委託者(オリジネーター)に対して社債的受益権を発行する※1。

## ②発行に係る申請

⇒受託者(発行者)は発行代理人を通じて機構に対して、社債的受益権の銘柄情報登録申請を行った上で、委託者(オリジネーター)の口座に新規記録申請※2を行う。

## ③委託者(オリジネーター)から引受会社への振替

⇒委託者(オリジネーター)は、自身の口座に新規記録された社債的受益権を投資家へ販売するのに際して、引受会社と総額買取引受契約を結んでいる場合には、引受会社の口座に振替を行う。

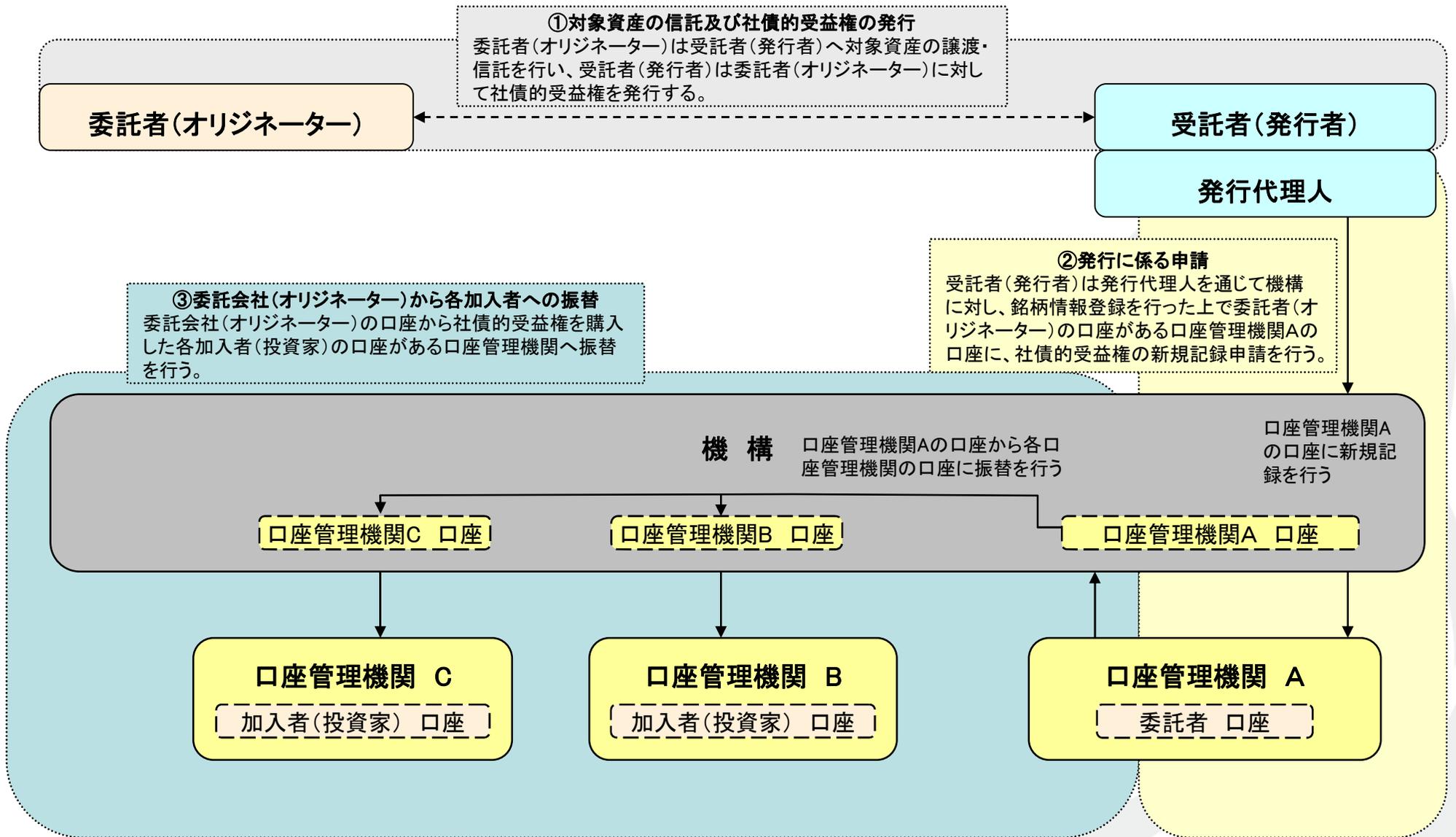
## ④引受会社から各加入者への振替

⇒引受会社は委託者(オリジネーター)から取得した社債的受益権を加入者(投資家)へ販売し、自身の口座から社債的受益権を購入した加入者(投資家)の口座へ振替を行う。

※1 社債的受益権に係る信託契約の効力発生日が一般債振替制度においての新規記録日となる。

※2 社債的受益権については、信託契約の効力発生日に社債的受益権としての効力が生じるため、信託契約の効力発生日に社債的受益権の発行を受ける委託者の口座に新規記録が必要となる。また、新規記録の方法については、資金決済を伴わないため、発行代理人直接申請の非DVP決済となる。

# 発行時のフロー図(委託者による直接販売方式)



(実線)機構の一般債振替システムにおけるデータの流れ  
(破線)機構の一般債振替システム外のフロー

# 発行時のフロー（委託者による直接販売方式）

参考



## ①対象資産の信託及び社債的受益権の発行

⇒受託者（発行者）は委託者（オリジネーター）から対象資産の信託を受けて、委託者（オリジネーター）に対して社債的受益権を発行する※1。

## ②発行に係る申請

⇒受託者（発行者）は発行代理人を通じて機構に対して、社債的受益権の銘柄情報登録申請を行った上で、委託者（オリジネーター）の口座に新規記録申請※2を行う。

## ③委託者（オリジネーター）から各加入者への振替

⇒委託者（オリジネーター）は保有する社債的受益権を加入者（投資家）へ販売し、自身の口座から社債的受益権を購入した加入者（投資家）の口座へ振替を行う。

※1 社債的受益権に係る信託契約の効力発生日が一般債振替制度における新規記録日となる。

※2 社債的受益権については、信託契約の効力発生日に社債的受益権としての効力が生じるため、信託契約の効力発生日に社債的受益権の発行を受ける委託者の口座に新規記録が必要となる。また、新規記録の方法については、資金決済を伴わないため、発行代理人直接申請の非DVP決済とする。